

あすなろ

静岡県伊豆市小下田 2492 駿豆学園 令和8年5月31日 250号
TEL0558-99-0248・FAX99-0258



今年度もたくさんの思いで
作ろうね。

平安な令和八年度に

園長 天良 昭彦

新緑がまぶしく、風の心地よい季節となりました。

新年度が始まり二か月、駿豆学園では令和八年度も昨年度までと変わらず、生活介護事業・施設入所支援・短期入所事業のサービスを提供する障害者支援施設として事業を継続しています。

利用者、職員の異動は一人もなく、昨年度からの継続的な支援が計画的に提供できることはありがたいことです。具体的支援内容は前年度を総括し、新たな活動や企画が実施され利用者、職員ともに一年の期待に満ちています。

施設内での人の異動はありませんが、事業を進める過程では毎年多くの新たな出会いがあります。私自身振り返ってみますと、人との出会いは良くも悪くも自分の成長に欠かさない出会いだったと思います。今年度はどんな方々と出会えるのでしょうか。とても楽しみです。

五月は心と身体の疲れが出やすい時期でもあります。職員同士が声を掛け合い、支え合うことを大切に

てもらいたいと思います。福祉の仕事は、一人では成り立ちません。利用者の皆さん、ご家族、地域、行政そして職員同士の信頼の積み重ねがより良い支援につながっていくのだと思います。

今年度も駿豆学園は基本理念である「人としての尊厳を守り、豊かで安らぎのある生活の営みを大切にします」を胸に、職員一同より良い施設づくりに取り組んで参ります。長年培ってきた温かな支援を守りながらも、時代の変化や多様なニーズに柔軟に対応し、挑戦を続ける一年にしていきたいとも考えています。

利用者の皆さんが毎日を安心して過ごし、「ここで暮らしてよかった」と感じられる場所であるために。そして、職員一人ひとりが誇りとやりがいを持って働ける職場であるために。これからも皆で力を合わせ歩んで参ります。

世界に目を向けると、紛争や戦争が後を絶ちません。平和な日本に生まれたことに感謝すると同時にいつの日か全世界が平安な世の中になることを祈ります。

本年度も駿豆学園に対し皆様のご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

感染症対策について

総務課長 山口 深志

二月初旬に駿豆学園が立地する伊豆市土肥地区ではめずらしい降雪があり、夜間は非常に寒くなりました。峠道も凍結し、翌日勤務した職員の数名は通勤困難となるほどでした。その影響ではないかと言われているですが、土肥地区名産の「白ビワ」が不作となり、実がついていない木が多くあります。しかし、幸いなことに駿豆学園にある白ビワの木には例年どおり多くの実がついています。

五月八日で新型コロナウイルスの感染症法での扱いが、季節性インフルエンザと同じ五類となつて三年になります。新聞やニュースなどで報道されていましたが、全国の定点医療機関による週ごとの感染者数報告では、夏と冬にある流行の波は縮小傾向。特に昨年から今年にかけての冬は、ピーク時も一機関当たり三人に満たない小さな波だったようです。感染者数報告では、令和五年夏のピーク時は一機関当たり約二十五人でしたが昨夏は約八・七人。令和五年から六年の冬は約十六・二人でしたが、昨年から今年にかけての冬

は、約二・七人と減少しています。

一方、入院する患者の大半は高齢者で、人口動態統計で最新の令和七年十一月には新型コロナによる死亡者が一千二百八人となり、感染症での死亡では圧倒的に多い人数です。死亡者の九十七％が六十五歳以上で、今後同様の傾向が予想されます。

新型コロナウイルスが感染症法での扱いが五類になつても、駿豆学園のような入所施設では感染防止対策による警戒を続けています。学園内でコロナウイルス感染が発生すると数日で何人もの利用者へ感染します。職員へ感染する恐れもあり、職員数名が感染すると利用者支援にも支障をきたすこととなります。まず職員がウイルスを持ち込まないように、手洗い、うがいなどの基本的な感染予防と、毎日の出勤時に体温の確認、勤務中でのマスクの着用のほかにプライベートでの外出時でも人混みではマスクの着用をお願いしています。

ご家族の面会も事前に予約いただき、利用者の居室ではなく会議室などの大きい部屋で実施しています。

感染症の流行状況を確認しながら面会や帰省などを過度に制限せず、しかし油断せずに、感染症対策を継続し、安心な生活を守っていきます。

伝える力を大切に

支援課長 木村 悦治

毎月の職員会議の冒頭で、職員による三分間スピーチを行っています。毎月二名の職員が指名され、一人、年一回実施できるようにしています。始まりは数年前、コロナ禍において外部との交流が難しかった時期に、人前で話をする事、伝える力をつけることを目的としてスタートしました。

テーマは自由で自分の趣味やプライベートの事、旬な話題や社会情勢、勿論福祉に関する話もあります。

三分という時間は長くも短くも感じられます。自分の順番が回ってくると、何の話をしようか、上手く話ができるだろうか、時間は大丈夫か等と不安がありながらも、皆さんしっかりと話をして、時には意外な部分が見えたりする事もあり、最後は園長の講評でまとめてもらい、職員会議に入っていきます。

職員の中には人前で話をする事が苦手で、かなり緊張している様子が伺える方もいます。また事前にしっかりと話を考えてくる人、はたまた即興的に話を組み立てる人とこれ

もまた様々ですが、基本として、分かりやすく、楽しく相手に伝える事を考え取り組んでいます。

意思決定支援においては、聞く力と同時に様々な話題や情報、支援の方針等を伝える力も求められます。また職員間でも同様に、情報共有、コミュニケーション、外部研修等の伝達において伝える力は重要です。令和八年度から地域移行等意向確認が義務化となり、利用者とそのご家族の意向確認が行われます。分かりやすく丁寧な説明ができるよう、今後も話し方のトレーニングとして継続していきたいと思っています。

新年度がスタートして、利用者の皆さんは元気に過ごされています。日中活動では、あおぞら・大地・クラブ活動を基本とし、六月に行われる運動会に向けての準備、リフレッschussアーム宿泊と日帰りコースを計画し五月下旬より順次実施をしていきます。また楽しみである行事や毎月の外出などは、利用者の皆さんの意向や要望を計画にしっかりと反映させられるよう努めていき、利用者の方々に寄り添い、楽しみと活気のある生活となるよう支援をしていきます。

本年度もよろしくお願い致します。

年齢や体力に見合うサポートを

看護師 山田 美津子

現在学園で生活している利用者さんの平均年齢は、約四十九歳で比較的まだ若い年齢層が多い印象です。

ですが、ADLにサポートが必要な方が増え始め、個々の能力の違いも様々なので、それに見合った対応がとても大事だと思います。当たり前のことですが、年々歳を重ね徐々に体力、食欲などの低下が顕著にみられている方がいるのも事実です。今まで歩行がスムーズに出来ていたのに、介助が必要になってきたり、転倒しそうになったり、躓くことが増えてたり。また、調べてはいませんが、老眼？ではないかと思うような動きをしていたり、徘徊を始めてしまっている方もいます。

健康診断は毎年行っていて、今のところ生活習慣病に当てはまる方はいませんが、予備軍になりつつある方もいるので、現状をしっかりと把握し個々に合わせたケアが出来るように、サポートしていきたいと思っています。

給食だより「腸活だより」

栄養士 鍵山 智美

「腸活」という言葉がよく聞かれるようになったのは十年ほど前からだそうです。食事や生活習慣を見直すことで腸内環境を整える取り組みを言います。腸は「第二の脳」と呼ばれるほどメンタルにも深くかわる臓器で、腸内環境を整える事には様々なメリットがあります。

腸活の基本ルールは①食事で腸内環境を整える。発酵食品などを摂取することで善玉菌を直接体内に取り入れれたり、善玉菌のエサとなる食物繊維、善玉菌の増殖を助けるオリゴ糖を摂ることも大事。②腸を動かす生活習慣をつくる。積極的に体を動かす習慣を持つことは腸の活性化に効果的。ウォーキングなどできることから実践してみてもいい。③自律神経を整える。ストレスや睡眠不足により自律神経が乱れると腸の動きも鈍くなり腸内環境を悪化させる大きな要因になります。そして一番重要なのは「継続」すること。無理なく続けられる方法を選び、小さな改善を一つずつ積み重ねていきたいものです。

活動の紹介

大地

生活支援員 関 浩将

段々と過ごしやすい季節になってきました。利用者さんの健康を考え、天気の良い日は、歩行訓練・マラソン練習も行っていきたいと思っています。また、例年通りふれあい広場等へ制作した作品を販売致します。それらに向け、職員と共に楽しく作品作りをしていきます。ふれあい広場やアルミ缶回収等で地域の方と交流し、心身ともに充実した生活を送れるよう支援していきます。



天草作業の様子

四季の移り変わりを感じながら天候や気候に合わせた活動を楽しく安全に行っていきたいと思っています。室内活動では指先や身体を使ったレクリエーションを楽しみたいです。大好きなドライブや屋外活動も毎月計画します。利用者皆さんが無理なく安全に楽しみながら継続できる運動や工夫し、一人ひとりにあった活動を実施していきたいと思っています。

楽しみながら『あおぞら活動』

生活支援員 出川 奈央



中庭にてリラックスタイム

笑顔あふれる外出活動

生活支援員 梅田 綾乃

利用者さんにとって、毎月楽しみな外出活動、行き先や内容は、利用者さんの希望を取り入れていきます。外出から帰ると、「楽しかった!」「美味しかった!」と、利用者さんが見せてくれる笑顔は、私たちをも幸せな気持ちにしてくれます。

その季節ならではの風景、美味しい食事など、日常では味わえない体験がたくさん出来るように、今年度も計画していきます。



外出活動

今年度も音楽クラブでは利用者の方達が大好きな音楽を通して身体を動かしたり、時にはカラオケ等を使い大きな声で歌ったり・・・利用者の方の意見を聞きながら活動していきたいと思っています。日々の活動の中でも、とても身近な音楽で、より楽しく活動出来るよう工夫していきたいと思っています。運動会やすんずふれあいフェスティバル、クリスマス会・学園の行事の中で皆さんに披露出来る日を楽しみに頑張りたいと思います。

音楽クラブ

生活支援員 松本 明美



音楽クラブ

スポーツクラブ

生活支援員 高野 慶



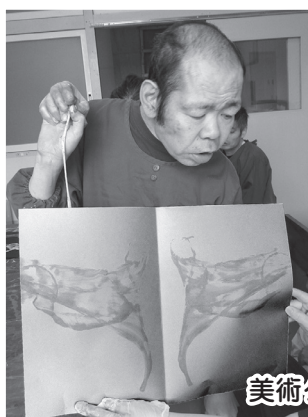
今年度もスポーツクラブは、楽しく安全に様々な計画をしていきたいと思えます。個々の状態に合わせた、健康維持・体力の向上を目指し、スポーツやレクリエーション、そして夏には海水浴を行っていきます。

また、わかふじ水泳大会やオレンジマラソンに参加し達成感を味わってもらい、日々の生活がより良いものとなるよう支援していきたいと思えます。

楽しむことを大切に美術クラブ

生活支援員 朝香 由起子

「美術は苦手、難しい」と思う方もいるかもしれませんが、そんなことはありません。「失敗なんてない。とにかく楽しむこと」を大切に、利用者の皆さんと職員共に、活動していきます。四月は糸引き絵を行いました。偶然にできた形や線が「何に見えるかな？」と想像しながら作品を仕上げました。今後も様々な技法や画材に挑戦して、楽しい活動から素敵な作品が生まれたら嬉しいです。



おやつクラブ

生活支援員 大木 章敬



おやつクラブ



今年度、おやつクラブでは自分達で作る楽しさや嬉しさ、食べる喜びや幸福を感じ、美味しく楽しい時間を過ごしていただけるように様々なおやつ作りに挑戦していきます。利用者皆さんのリクエストや嗜好を考慮し、季節を感じるものや、盛り付けなども工夫し、眼で見ても楽しめるもの、美味しく楽しい体験を、活動を通して提供していきたいと思えます。

安全対策・権利擁護委員会

生活支援員 熊山 浩之

今年度から「安全対策・権利擁護委員会」は、委員長をサービス管理責任者（支援課長、虐待防止受付担当者）、委員に園長（虐待防止責任者）、総務課長、統括棟長、各棟長、看護師による七名の委員で実施していきます。

当委員会は虐待防止対策委員会、身体拘束適正化対策委員会、感染症対策委員会を兼ねる事とし、毎月開催し各案件等につき検討、検証をしていきます。

虐待防止対策委員会、身体拘束適正化委員会では、身体拘束・指導室隔離の実施状況についての確認、権利侵害となりうる不適切対応等の意見の収集を行い、その検証結果を職員会で報告し職員全員に周知し徹底を図っていきます。

感染症対策委員会では、県及び近隣における感染状況の確認、感染防止対策を検証し、施設内感染の防止に努めていきます。

また、職員研修で「虐待防止・権利擁護」「感染症」の勉強会を行い、安心・安全な生活に向けて取り組んで参ります。



毎年草刈りをして下さいます。
ありがとうございます。

天理教西浦分教会 様



おかげ様で、健康に過ごしています。

東静岡ヤクルト販売株様より寄贈

年間予定

- 6 / 7 (日) 運動会
- 10 / 25 (日) 駿豆ふれあい
フェスティバル
- 11 / 28 (土) 静岡オレンジ
マラソン大会
- 12 / 17 (木) 12 / 21 (月)
愛護ギャラリー展
- 12 / 20 (日) クリスマス会
- 3 / 25 (木) やよいの会

ボランティアのお願い

学園では、縫い物や草取り、その他の軽作業等のできる方を募っています。短い時間でも結構ですので、駿豆学園にお出掛けいただけないでしょうか。お待ちしております。

ショートステイのご案内

在宅の方で、ショートステイをご希望される方はお気軽にご相談下さい。問い合わせ相談は随時受け付けております。

ふれあい広場

― 善意を寄せられた方々 ―
○ 東静岡ヤクルト販売株式会社様
○ 土肥ライオンズクラブ様
○ 金刺甚一郎様
― 奉仕をされた方々 ―
○ 天理教西浦分教会様
皆様のご厚意に御礼申し上げます

【お知らせ】

面会をご希望の方は、事前に電話にてご確認ください。パソコン等を利用したりモートでの面会も実施しております。駿豆学園ホームページでもあすなろを閲覧出来るようになっています。アドレスは
www.sunzugakuen.jp/ になります。ぜひ御覧ください。

編集後記

初夏の日差しに、木々の緑が生えるこの頃、利用者の皆さんは元気に過ごされています。

今年度も、利用者の皆さんが健康で充実した一年を過ごせるよう、職員一同努めてまいります。